

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123 (24) 8818

FAX 0123 (24) 8819

2025年6月17日発行 【再刊第36号】

今号の話題

○支笏湖チップ釣り解禁

初日は大漁、大ぶり目立つ

○旬のアスパラが人気

松坂屋上野店で北海道物産展

○ランナーが新緑のコース力走

JALマラソン開催

支笏湖チップ、釣り解禁

初日の釣果好調、笑顔広がる

25㍍28センチ、大ぶり目立つ

支笏湖チップ釣りが6月1日、同湖で今季の解禁日を迎えました。釣りができる午前3時を過ぎると約150隻が続々と出船。初日は100匹を超える釣果を見せる釣り人もいるなど好調な滑り出しとなり、船着き場では釣り人たちの笑顔が広がりました。

初日の湖面には朝から出船した釣り人が何本もの釣竿を立て、糸

を垂らす光景が見られました。エサはサシやイクラなど。中には特製のエサを持参する人もいるとのこと。釣り針の仕掛けにこだわりを見せる人もいます。

釣れた魚は25㍍28センチ程度と大きな個体が多く、クーラーボックスに入りきらず、バケツに入れて浜に帰ってくる人もいました。

「今日はあんまりだった」という人でも大ぶりな魚を30匹以上釣りあげていて、今後のさらなる釣果に期待している様子でした。

支笏湖チップ（ヒメマス）はサケ科の淡水魚で、紅サケの湖沼残留型。原産は阿寒湖原産です。1894年（明治27年）に移植されました。鮮やかな赤い身が美し

大ぶりな支笏湖チップがたくさん釣れました



く、ほどよく脂が乗っていて、刺身で食べると独特の甘みとうま味が舌に広がります。塩焼き、天ぷら、フライなどにして支笏湖畔の商店や温泉旅館・ホテルのほか、千歳市内の中心市街地や札幌市内の飲食店等で提供されています。

支笏湖チップは、食をきっかけに千歳、支笏湖への誘客を促す貴重な観光資源です。観光連盟では機を的確に捉えて、道内外でのPR活動に取り組んでいます。

支笏湖チップのふ化・増殖事業は千歳市の委託で支笏湖漁業協同組合が担っています。資源保護のため、解禁日は毎年6㍍8月の3

解禁初日は豊漁に恵まれました



か月間と限定。出船して釣りをできる時間帯も月ごとに異なるほか、支笏湖漁協が販売する遊漁券を購入し、釣りをしている間は携行しなければなりません。ご注意ください。

支笏湖チップ釣りの解禁を前にした5月31日、湖畔の支笏湖神社では、恒例の大漁祈願祭が執り行われました。市や観光連盟、支笏湖漁協、環境省など関係者ら約20人が参列。神職が祝詞を奏上し、お祓いをして、出船する釣人の安全と豊漁を祈願。参列者も玉ぐしをささげて、神前に今季の釣果が好調であるよう祈りました。



地元関係者が大漁を祈願

松坂屋上野店、北海道物産展に参加 旬のアスパラ、道産米大好評 全国からの出店依頼多数、商談実施



観光連盟は東京の松坂屋上野店で開催された北海道物産展（4月23日～5月6日）に出店しました。直送した千歳産アスパラガスや道産ななつぼしを販売。道産の旬野菜とお米は訪れた買い物客の好評を得ていました。

アスパラガスは産地直送のとれたてを提供。ななつぼしの人気も高く、買い物客が続々と観光連盟のブースに立ち寄り、品質の良さを確認。手に取る姿が見られました。

た。また千歳の観光ポスターを張り、パンフレットも用意するなど、PRも行ないました。

本州のデパートで開催される北海道物産展への参加は、千歳産品、道産品のPRと地域振興と同時に、食の魅力を発信することで千歳を個人旅行の行程に組み込んでもらう狙いもあります。

観光連盟では5月、西武そう、阪急梅田、山形屋の各デパートの物産展担当者と商談を行いました。内容は秋から冬にかけての北海道物産展への出店についてです。このほか、物産のみの提供依頼も北陸や中国地方など各地から寄せられています。観光連盟では千歳産品の魅力発信による地域振興に引き続き努めてまいります。

グリーンベルトに親しんで 重機試乗、ステージイベントが初夏盛り上げる

「グリーンベルトまつり」が6月14日、市内グリーンベルトで開催されました。地上高くへ昇降するのスカイマスタ―（高所作業車）乗車体験のほか重機の試乗、キッチンカーや屋台が多数出展したマルシェやステージイベントが開かれるなど、初夏の千歳の中心市街地にぎわいをもたらしました。



グリーンベルトに親しんでもらおうと、2013年から千歳市環境整備事業協同組合が主催。観光連盟が後援しています。

スカイマスター試乗では、重機に乗った子供達が歓声を上げ、ミニショベルカーなどへの試乗体験も人気で、ブース前には行列ができました。ステージでもヨサコイソーランの演舞やスコップ三味線、フラダンスなどが披露されて会場を盛り上げ、飲食の屋台やキッチンカーではチュロスやかき氷、チーズハットグ、ビール、ソフトドリンクが販売され、来場者が楽しい週末を過ごしました。



会場内は多くの市民でにぎわいました

新緑の林間コースをラン JAL マラソン開催 6724 人出場

第45回千歳JAL国際マラソンが6月1日、市内の青葉公園を主会場にして開催されました。市スポーツ協会、日本航空（JAL）、北海道新聞社主催、観光連盟後援。今年は海外を含め道内外の6724人が出場。好天に恵まれた大自然を、ランナーたちがさわやかに駆け抜けました。

今大会はフルと3キロコースに加え、6年ぶりにハーフマラソンが復活。総出場者数は前年から1647人増。外国人も197人がエントリーしました。

ブロック別のウェーブ方式でのスタートが採用され、フルのスタートでは横田隆一千歳市長が「清々しい新緑の中でゴールに向



木漏れ日の中でスタートを切るフルマラソンの出場者

かって駆け抜けてください」とあいさつし、号砲。沿道では出場者の家族や市民らが「がんばれ！」などと拍手と声援を送っていました。出場者は、晴天の下、新緑が美しく木漏れ日も差す清々しい林間コースをそれぞれのパースで走りました。

昨年に続き、今年も元プロ野球北海道日本ハムの杉谷拳士さんがスターターを務め、自身もゲストラランナーとしてハーフに出場。スタート地点ではJALの客室乗務員たちが笑顔と拍手

で出場者を見送り、ゴール地点でも完走したランナーたちを迎えていました。

手荷物あずかり開始

千歳駅観光案内所

観光連盟は、千歳駅観光案内所（JR千歳駅構内）で手荷物あずかりサービスを開始しました。短時間の市内観光を手ぶらで楽しんでもらう取り組みです。

ホテルをチェックアウトした後に、飛行機の搭乗時間や次の目的地に行くまでの短時間に千歳観光



解サービスを受け付ける千歳駅観光案内所

を身軽に、気軽に楽しんでもらうサービスです。重いスーツケースや手荷物などを気にせず、自由に街中を楽しんでいただきます。

料金は、小型サイズ（最大辺が45センチ未満）が500円、標準サイズ（3辺の合計が115センチ未満）が1000円、大型サイズ（3辺のサイズが115センチ以上）が1500円。お支払いはクレジットカードか電子マネーのみです。

案内所の営業時間は午前9時から午後4時半。ちよつとしたお時間ができた際は、どうぞご利用ください。



Baggage Storage
手荷物預かりサービス
Baggage Storage Service
営業時間 9:00a.m.~4:30p.m.
料金表
1日 1DAY
小型サイズ Small Size 500円
標準（中型）サイズ Regular Size 1,000円
大型サイズ Large Size 1,500円
千歳観光案内所 Chitose Tourism Association

イベント情報

▼支笏湖チップまつり〜第75回支笏湖湖水まつり（7月5日、支笏湖温泉園地）6月に釣りがされた禁の支笏湖チップを塩焼きにして数量限定で販売。千歳機甲太鼓の演奏や琉球舞団昇龍祭太鼓による創作エイサー踊りのほか、千産千唄アイドル小娘（シャオニャン）のライブや千歳アイヌ文化伝承保存会の古式舞踊等を予定。キッチンカーが出店し、クラフト体験やEV・水素自動車展示もあります。

▼2025スカイビア&YOS OKOI祭（7月19〜21日、グリーンベルト）。地元に立地するキリンビール北海道千歳工場産のビールで喉を潤しながらヨサコイチームの演舞を楽しむ、千歳の夏祭りの皮切りとなる大イベント。期間中は北海道日本ハムファイターズオフィシャルチアチーム、ファイ

ターズガールやダンスボーカルグループ ambitious のステージ、千歳市空港開港100年特別企画などを予定。多数の飲食ブースやキッチンカーが出店予定。6月21日からは抽選券付前売り飲食券（1枚1000円）の販売を千歳市役所観光課、千歳商工会議所で開始します。

▼2025千歳市民花火大会（7月26日午後7時45分〜観覧場所は陸上自衛隊北千歳駐屯地内スキー山横）スターマイン、仕掛け花火など約4000発が夏の夜空を彩る花火大会。同大会実行委員会が主催し、観光連盟が開催に協力しています。入場無料。駐車場はないため公共交通機関をご利用ください。会場付近の公道に車を停めないなど、ご協力をよろしくお願いいたします。駐輪場はあり、バイクはそこに停められます。荒天時は27日に順延。

編集後記

今号を編集集中、釧路市出身で札幌を拠点に活動する俳優の斎藤歩さんの逝去の報が流れました。一演劇ファンとして寂しい限り。ご冥福をお祈りします。

演劇と言えば、兵庫県豊岡市は演劇による地域おこしに取り組み、劇作家の平田オリザさんを学長に迎えた公立芸術文化観光専門職大学が所在します。多くの学生たちが豊岡に移り住み、毎年秋に開催される演劇祭には多くの人が訪れているとのこと。

千歳市民ミュージカルの関係者に聞くと、公演には札幌や恵庭、苫小牧など近隣の他、旭川や士別からの観客もいたとのこと。文化が交流人口の増加につながる取り組みは、面白く意義がありそうです。（ひ）